

研修名 マネジメント

平成30年5月8日(火) 10:00~12:30

講演 「保育施設におけるマネジメント

～何故今マネジメントが必要なのか～

講師 大阪教育大学 小崎 恭弘 氏

1 講演要旨

1) キャリアパス研修と保育を取り巻く状況

・研修を行う意義と根拠→保育士の資質の向上、次の保育業界を担う立場として変化して欲しい。研修を受けて知識、技術を得ることはもちろん大切だが意識、価値観が変わらなければいけない。いいと思わなければ活用しようと思わない。

いい研修→価値観を変える研修

・学びの壁を超えていくことが研修

知らない→知る→やってみる→わかる→できる→している

保育士の資質の向上は、保育の質を大きく決定する要因になる。

・マネジメント研修…専門分野におけるリーダー的な役割を担う者としての経験があり、主任保育士の下でミドルリーダーの役割を担う者→マネジメントとリーダーシップに関する能力を身に付ける。組織の管理、運営を担う。

・ミドルリーダーへの期待 組織的な運営の必要性 保育人材育成の見直し 新任育成、管理者育成の間(ミドル層)の育ち 次の組織を担う人材育成、次期管理者養成
質の高い保育への期待 分厚い中堅層の育成 キャリアパスの意識と専門性の向上
社会、保育の変化の激しさへの対応

・マネジメントとは組織に成果をあげさせる為のもの

組織運営とは「伝言ゲーム」である。

管理者の思いが主任、保育士、子ども、保護者、地域へとつながっていく一連の流れをつくるグループ。施設の人権意識、保育観、人間観はメンバーに伝わっているのか?

「設定した組織目標を達成する為に資源を効率的に活用してどうにかこうにか何とかする」
一つ上の視点で保育を見る。自分の担当だけを見ているのではダメ。園長の立場、主任の立場に立って物事を考えられるようになる事が求められる。

2 感想

研修を受けて改めて今の立場の自分が園という組織の中で何ができるだろうという事を考えたり、何を期待していただいているのかがわかったのでとても勉強になりました。今現在クラス担任をもたせてもらっていますが自分の担当しているクラスだけでなく広い視野で物事をとらえ、職員間のコミュニケーションを大切にしながら園という大きな組織がよりよいものとなるよう具体的に一つ一つ行動していきます。

(記録 アスク向日保育園 瀬尾 静香)